

所属	パネルNo.	研究代表者名	課題名
看護学部	1	安藤 里恵	糖尿病患者に対する災害に備えた療養指導の実態 ～東日本大震災被災地の看護師への質問紙調査から～
	2	土屋 陽子	被災後の糖尿病患者の災害に対する備えの現状 ～東日本大震災の患者への質問紙調査から～
	3	伊藤 収	大震災発生5ヶ月後の保健師が求める情報と研究協力負担
	4	工藤 朋子	A地区における遺族支援体制の検討 ～住民への質問紙調査・民生委員の見守り活動から～
	5	工藤 朋子	岩手県におけるELNEC-J研修の評価
	6	田口 美喜子	被災地で子どもの支援を行う支援者自身のストレスマネジメントを 考える～花や緑を用いた園芸療法プログラムをとおして～
	7	千田 睦美	高齢患者の退院に関する看護の認識と実施状況 -スクリーニングおよび退院調整部門の有無での分析-
	8	平野 昭彦	盛岡における被災者への健康支援について
	9	福島 裕子	岩手県の中堅助産師を対象とした、派遣型・実践型の「助産実践能力強化研修」の実施と評価
	10	村松 仁	精神障害者のリハビリを促進する看護に関する研究
	11	三浦 まゆみ	健康支援の専門家である県内看護師がつくる被災地住民の居場所づくりに関する研究
	12	山内 一史	電子カルテ導入前後での職員の業務量の比較と効果的な人材配置の検討
社会福祉学部	13	小川 晃子	仮設住宅におけるセンサーを活用した見守りシステムの研究
	14	小川 晃子	「見守り」を核とするICTを活用した医療・福祉連携策の検討
	15	狩野 徹	被災地の復興まちづくりにおけるユニバーサルデザインの課題について
	16	狩野 徹	サポート拠点の効果的な整備及び運営について
	17	都築 光一	岩手県災害派遣福祉チームについて
	18	中谷 敬明	東日本大震災被災地域住民のこころの健康に関する研究－釜石市健康調査の分析による被災後の市民の精神的健康の実態把握－
	19	藤野 好美	岩手県における若年性認知症の本人と家族の支援について
	20	宮城 好郎	福祉NPOの自主事業開発における戦略的課題について

所属	パネルNo.	研究代表者名	課題名
社会福祉学部	21	山田 幸恵	音の方向感を強調する補聴システムの開発
	22	山本 克彦	子ども・子育て家庭支援に向けた地域連携に関する研究
	23	米本 清	失語症者における聴覚機能に関する研究
ソフトウェア情報学部	24	阿部 昭博	周遊行動データの分析可視化に基づく地域ツーリズム統合支援システムの研究
	25	阿部 昭博	周遊行動データの分析可視化に基づく地域ツーリズム統合支援システムの研究
	26	新井 義和	車々間通信における情報伝達の不連続性を考慮したインテリジェントブレーキ制御システム
	27	新井 義和	低サンプリングレート画像による運転操作支援インタフェース
	28	伊藤 憲三	防災行政無線に合成音を用いるための最適制御法に関する検討
	29	伊藤 憲三	自動車の運転支援を目的とした骨導受聴システムに関する研究
	30	猪股 俊光	組込みソフトウェアの品質検査支援システムの開発
	31	猪股 俊光	車載ソフトウェアの品質向上のための自動検査システムの開発
	32	樽松 理樹	救急外来問診票からのトリアージ支援情報の獲得
	33	ゴウタム・チャクラボルティ	足圧から得られる時系列データの解析
	34	ゴウタム・チャクラボルティ	アイマークレコーダを用いた視線入力装置の操作性及び精度向上手法の提案
	35	蔡 大維	ユビキタス通信による観光案内システム及び観光履歴の自動集計
	36	蔡 大維	『語り部くん』携帯端末による観光客行動自動集計及び地域経済振興の研究
	37	蔡 大維	低消費電力の高速無線通信方式及び組込みシステム実装技術の研究開発
	38	佐々木 淳	訪問型在宅医療を支援するリアルタイム情報共有システムの研究
	39	佐藤 裕幸	並列分散処理による衛星画像データ処理の高速化
	40	澤本 潤	脳波情報を用いた安全運転支援システムの研究
	41	澤本 潤	ブレインコンピュータインタフェース (BCI)におけるパーソナル軽量化の研究

所属	パネルNo.	研究代表者名	課題名
ソフトウェア情報学部	42	柴田 義孝	Radio on Demand 機能により通信起動制御可能とする車載型全方位映像転送システムの実用化研究
	43	菅原 光政	地域と連携した情報システムの構築・運用
	44	瀬川 典久	盛岡市内におけるカラスの行動分析と可視化
	45	土井 章男	いわて発世界初の長寿命人工関節開発
	46	土井 章男	タイルドディスプレイを用いた大規模マルチボリューム画像のリアルタイム表示環境の構築と次世代可視化システムの基礎的検討
	47	土井 章男	骨折用カスタムフィットプレート設計の最適化に関する研究
	48	バサビ・チャクラボルティ	誤り関連電位を用いた P300 BCI speller の実用性向上研究
	49	バサビ・チャクラボルティ	ソーシャルメディアを対象とした大震災に関する被災女性ニーズ抽出の研究
	50	橋本 浩二	大規模災害時における大型高精細可視化装置を活用した総合災害管理支援システムの研究開発
	51	ブリマ・オキ・ディッキ	顔向け・表情・発話を自動記録する行動観察ソフトウェアの開発
	52	松田 浩一	和太鼓打撃におけるリズム感の可視化と学習効果に関する研究
	53	村田 嘉利	リハビリ改善度測定システムの開発
	54	村山 優子	津波の記憶を忘れないための Web 上の津波資料館の構築
	総合政策学部	55	泉 桂子
56		伊藤 英之	いわて三陸オリジナルのジオツアーリズムプログラムの開発と実践
57		見市 建	インターネットと選挙：2012年のジャカルタ州知事選を手がかりに
58		倉原 宗孝	住民主体や協働による各地まちづくりの支援・実践
59		倉原 宗孝	まちづくり・地域づくりにおける歴史文化遺産の活用～史跡を中心に～
60		小井田 伸雄	より良い意思決定に向けて
61		佐野 嘉彦	沿岸被災地における仮設住宅住環境の改善に関する研究

所属	パネルNo.	研究代表者名	課題名
総合政策学部	62	渋谷 晃太郎	岩手県産植物からの精油等の成分抽出法の開発及び精油等の効果に関する研究
	63	島田 直明	海浜性植物から見た岩手県の保全すべき砂浜 －東日本大震災からの保全を目指して－
	64	高嶋 裕一	岩手県の震災復興状況に関する長期モニタリング調査と質的情報の解析手法の開発
	65	栗田 但馬	岩手沿岸における震災復興ビジネスの成果と限界(岩手県における人口の社会減対策の強化に向けた課題整理)
	66	茅野 恒秀	地域に根ざした再生可能エネルギーの導入促進の現状と課題
	67	辻 盛生	放流によるダム水位低下操作が河川水質に与える影響
	68	辻 盛生	中津川における小型淡水魚類の減少原因の解明
	69	豊島 正幸	いわて地誌アーカイブプロジェクト
	70	西出 順郎	若者による震災復興支援に関する研究
	71	西出 順郎	復興支援活動における行政と民間の協働のあり方に関する研究
	72	新田 義修	復興を支える岩手の農林水産業
	73	平塚 明	被災地における絶滅危惧植物ミズアオイとビオトープの再生
	74	堀籠 義裕	人口構成の変化を考慮した地域政策形成に関する研究
	75	村木 尚文	非可換確率論－奇妙な確率論の研究－
	76	元田 良孝	自転車交通に関する研究
	77	山本 健	被災地における仮設商店街の展開
	78	山田 佳奈	現代における食の持続可能性－種子の継承を通して
79	吉木 岳哉	久慈地域の忘れられた鉄資源と製鉄・環境史	
80	吉野 英岐	県央地域における「南部生パスタ」を題材とした地域振興に関する研究	
センター 共通教育	81	劉 文静	地産地消から地元救済－陸前高田市「川の駅よこた」の事例－

所属	パネルNo.	研究代表者名	課題名
盛岡短期大学部	82	石橋 敬太郎	大規模災害における在住外国人に対するサポート体制に関する調査研究
	83	菊池 直子	ホームスパン工芸への及川全三の取り組み
	84	高泉 佳苗	健康的な食生活リテラシー尺度の信頼性および妥当性
	85	千葉 啓子	北上産黒大豆「黒千石」の栄養機能性と加工食品への応用に関する研究
宮古短期大学部	86	岩田 智	コールセンターを核とした地域連携と地域振興
	87	植田 眞弘	歴史に学ぶ“女性と復興”～昭和三陸大津波と家族・共同体～
地域連携本部	88	曾我 正和	高齢ドライバに配慮した安全運転支援情報提供手法(ペダル踏み間違い防止)
	89	高橋 幹	Wake on demand 通信システムの開発
	90	平川 剛	Radio on Demand を用いた車載向けセンサ情報サーバプラットフォームの提案
	91	前島 治	ワイヤレス給電システムの開発
	92	郡 未来	加速度センサによる地域伝統舞踊の表現力の見える化
	93	櫻庭 彬	大規模高精細表示デバイスを応用した災害情報提示・共有への取り組み
	94	福原 和哉	安価なマイコンボード向け軽量 Ruby 環境の開発と評価